

# TOKYO DOME HOTEL

## 弱酸性ヘアエステ

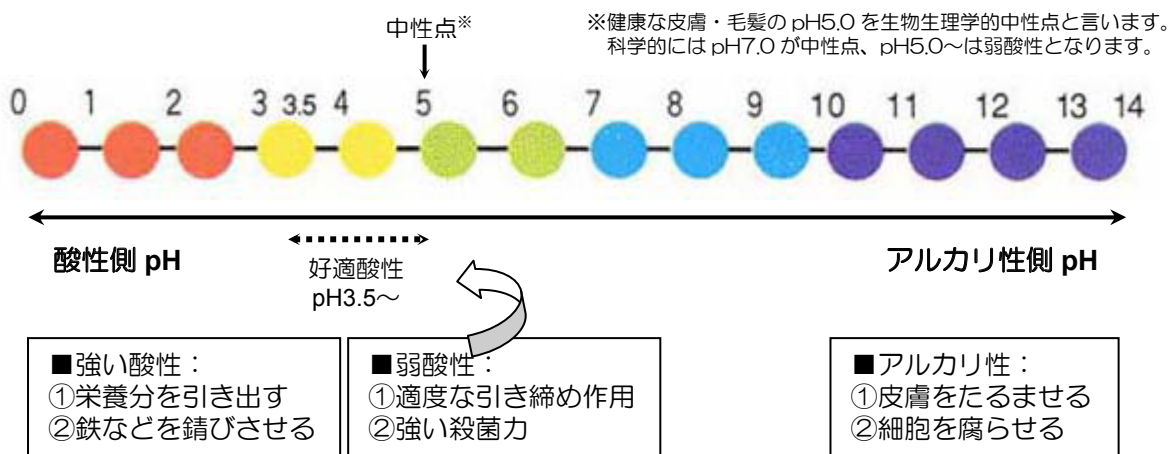
東京ドームホテル5階にある「山崎伊久江美容室」には、弱酸性トリートメントローション「ベル・ジュバンス」を使用した、ホテル内美容室では珍しい“ヘアエステ”があります。「ベル・ジュバンス」は、ヘアエステとパーマの両方に使用できる、同美容室オリジナルのトリートメントローション。引き締め作用と殺菌力により、ツヤのある健康な髪に導きます。

### 頭皮や毛髪はアルカリ性に弱いタンパク質、皮膚と同じ“弱酸性”

人の皮膚が“弱酸性”ということは昨今常識となってきましたが、これと同じく、皮膚とつながっている頭皮や毛髪も“弱酸性”、pH 数値で言うと 5.0 前後とされています。

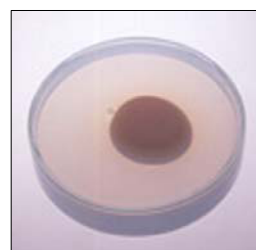
しかし、一般的にヘアケアやスキンケアで使う液は、アルカリ性のものを使用していることが多く、アルカリ性や極度の酸性に弱いタンパク質から成る皮膚や毛髪との相性はあまり良くありません。下図のように、皮膚がアルカリ性の影響を受けると、細胞の代謝を妨げる働きにより、毛穴が老廃物で詰まり酸欠状態に。皮膚をたるませ、老化を促進する原因となります。“パーマをかけると髪が傷む”のは、毛髪の外側を守るキューティクルが膨らんで隙間ができ、そこから髪の脂分や水分が抜け出てしまうからなのです。また、酸性が強すぎても、皮膚や毛髪の栄養分を引き出してしまい、カサカサに。フケ、かゆみなどの原因にもなります。一方、弱酸性の場合はキューティクルを引き締める効果により、髪 1 本 1 本の表面を滑らかに、ツヤのある健康な髪に導きます。

#### 【皮膚・毛髪の成分“タンパク質”に対する性質】

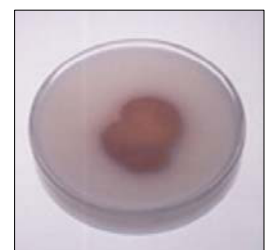


実際、どのような変化が見られるのか、卵の黄身で実験してみます。

右の写真は、卵の黄身に「山崎伊久江美容室」の弱酸性薬液「ベル・ジュバンス」と、アルカリ性薬液を入れて、30 分間（パーマ液を髪に塗布している目安時間）放置した後のものです。「ベル・ジュバンス」の方は酸性により引き締まりますが、アルカリ液の方は膨潤し、腐り濁っています。



弱酸性液  
「ベル・ジュバンス」



アルカリ性液

## 弱酸性ヘアエステによる頭皮の引き締めがお肌のハリを導きます

弱酸性ヘアエステの考え方は、“体内を綺麗にして肌や髪を健康にする”ということ。アルカリ性薬液の場合、頭皮がたるむことにより、顔のお肌にも影響を及ぼしますが、弱酸性は頭皮を引き締める効果により、顔のお肌までリフトアップ、“ハリ”のあるみずみずしいお肌へと導きます。一般的に、美容師の手は毎日のシャンプーなどでザラザラとかわかれています。弱酸性を使う「山崎伊久江美容室」のスタッフの手はツヤツヤ。弱酸性は体の中から“綺麗”を実現します。

実際に同美容室の弱酸性ヘアエステをご利用になったお客様の声（右記）をお聞きください。

### <お客様の声 一例>

- 頭皮が上に引っ張られているせいか、頭が軽くなる。頭皮の色が明らかに変わったのにはビックリした。
- （コシがない髪だったのに）適度なコシが出てきてスタイリングしやすくなった。
- 抜け毛の量が減った。
- 肩こりが治った。
- 施術してもらった日は良く眠れる。

## 山崎伊久江さんの“弱酸性”ストーリー

さて、このように、体内から綺麗にする“弱酸性美容”を確立した山崎伊久江さんですが、そこに至るまでには数々の苦難もありました。

1936年

### お茶の水美容女子学校卒業

実は学校の教師を目指していた山崎さん。当時まだ美容師のことは“髪結い”と呼ばれていた時代に、先生から「あなたが“美容師”になると大勢の人が喜び」と言われ、髪から始まる美容の専門家を目指すことに。

1948年

### 弱酸性美容の研究に着手

“美しくなるためのパーマで髪が傷むなんて納得いかない”と、パーマ液そのものに疑問を持ち、皮膚や毛髪と同じ“弱酸性”に着目。

ある時、仕事の縁で知り合った東大の教授に、当時のアルカリ性パーマ液を検査してもらおうと、「美容の世界ではこんなに強いアルカリ液を皮膚に使うのか!?’とビックリされたそう。当時は、pH9.0以上の強いアルカリ液でないとパーマはかからないと言われていた…。

1959年

### 天皇陛下ご婚礼の折、美智子皇后の十二単紋者の助手として宮中に参内

1961年

### 毛髪研究の進んでいるヨーロッパへ視察

ヨーロッパの美容界では10年前に、“弱酸性ではパーマはかからない”という結論に達しており、山崎さんと同様の研究をしている人はいなかった。ちなみに、この滞在中に知り合ったフランス人青年が、山崎さんの研究を応援し、フランス語で「美しく、若々しく」という意味の「ベル・ジュバンス」と名づけたそう。

1963年

### 弱酸性美容の確立、「ベル・ジュバンス」完成 厚生省（現 厚生労働省）に「弱酸性トリートメントローション」として認可される

1968年

### 「ヘアスタイリングの基礎技術」の確立

1974年

### 「やまと髪」を考案

1991年

### フランスの文化人類学者ロランス・カイエ女史著「ラ・メゾン ヤマザキ」で、世界に広くその名を紹介される

## 弱酸性ヘアエステ施術法

- ①まず、200倍のマイクロスコープで普段のままの頭皮をチェック。自分ではしっかり手入れしているつもりでも、拡大すると意外に汚れていることが判明。
- ②5～8倍に希釈した弱酸性シャンプーで洗浄。希釈するのは、洗浄力が強いシャンプーだと髪の毛の脂分を取りすぎ乾燥し、枝毛・切れ毛・フケの原因となるため。「山崎伊久江美容室」では、泡立て過ぎると髪が傷むため、2回に分けて優しく洗う。
- ③トリートメント第1剤（還元剤）を塗布。通常のトリートメントは脂分を与えるが、同美容室では水分。同時に、地肌の角質を浮き上がらせる効果も。pHは4.5に調節。
- ④第1剤が終わったら、全体をタオルで巻いて10～15分間休憩。この間に成分が浸透し、頭皮を潤わせながら、①のマイクロスコープで見た汚れなどをじわじわと浮き上がらせる。ちなみに、パーマをかける場合は、ここでロットを巻く。あとの手順はトリートメントと同じ。
- ⑤トリートメント第2剤（酸化剤）をホースで流しながら髪と頭皮のマッサージを20分。第1剤で浮き上がらせた汚れを取り除き、頭皮が呼吸できるようにする。ホースで流しながら塗布する第2剤のpHは、センサーでチェックし、調整液を使ってpH4.0前後をキープする。その人に適した酸性値にするため、肌状況によって微妙に変化させる。
- ⑥軽く洗い流し、ブローして終了。



⑤トリートメント第2剤をホースで流しながらマッサージ

## 店舗のご案内

- 店舗名 山崎伊久江美容室
- 場所 東京ドームホテル 5F
- 電話番号 03-5805-2263（完全予約制）
- 営業時間 10:00～19:00（エステのみ 21:00まで）
- 席数 【ヘアサロン】5台（シャンプー台含む）  
【エステサロン】6室（1室シャワー付き）

婚礼施設の集まるホテル5階、上質な雰囲気漂う山崎伊久江美容室は、大きくヘアサロンとエステサロンに分かれています。エステサロンは約6畳の広々とした個室6室からなり、全室化粧台とシャンプー台を完備し、新婦支度室としてもお使いいただいています。

ヘアエステは弱酸性トリートメントですが、フェイシャル、ボディ、バック、フットエステは、フランス製ソティス化粧品を使用しています。ソティス化粧品も弱酸性でお肌に優しいのはもちろんですが、例えばフェイシャルエステは50種類以上の化粧品の中からお客様の肌の状態に合わせて選び、調合したトリートメントを行うなど、個々のスキントラブルに合わせた効果的なケアをご提供いたします。ヘアサロン、エステサロンとも完全予約制ですので、ゆったりとくつろぎの時間をご満喫いただけます。

本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先

東京ドームホテル

総支配人室 広報担当

〒112-8562 東京都文京区後楽 1-3-61

TEL.03-5805-2151 FAX.03-5805-2153

URL <http://www.tokyodome-hotels.co.jp>